

「家庭学習のてびき」の活用について

丹波小学校

このプリントは、各学年ごとに配付した「家庭学習のてびき」をどのように活用していくかについて、保護者向けにまとめてあります。各学年の「家庭学習のてびき」と合わせてご覧いただき、ご家庭での学習に役立てていただければ幸いです。

1 学習時間のめやす

各学年とも **10分×学年+20分** をめやすとしています。例えば、4年生なら、**10×4+20で60分**となります。これは、右に示した「3 学習のメニュー」をすませるのに必要な時間と考えて決めてあります。もちろん「めやす」ですので、日によってはこれより多くなったり、体調がすぐれないときなど、少なくなったりすることもあるかと思えます。このめやす時間の間だけは、決まった場所で、集中して取り組めるよう、ご家庭でもご協力ください。

2 学習の始めと終わりの時刻

学習に気持ちよく取りかかれるように、子どもさんと話し合っって開始時刻を決めましょう。ただ、習いごとや部活などがある日、あるいは、土曜・日曜などによって、それぞれ時刻が変わってくると思います。また、短い時間を有効に活用し、2つに分けてする場合もあるでしょう。大切なことは、決めた時間、決まった場所で、集中して取り組むことです。各学年の「てびき」には、いくつかの欄を設けてあります。下の(決め方の例-4年生)を参考にしながら、お子さんと話し合っって決めてください。

いつ(曜日など)	何時から何時まで
月曜日と水曜日 (サッカーのある日)	16:20~16:40(20分);20:30~21:00(30分) 漢字だけはすませるぞ!! プリントや日記・お好み
火曜日と木曜日と金曜日 (サッカーのない日) 夕ごはんまで	17:50~18:40(50分) できるだけ夕食前にすませるようにしよう。
試合や練習のない土日・祝日	10:00~10:50(50分) 午前中にすませるようにし、月曜日に疲れが残らないようにしましょう。

ポイント!!

- ①「自己決定」と「自己責任」…「自分で決め、決めたことについては守る」ようにさせましょう。「勉強しなさい。」ではなく、「もうすぐ時間になるね。」と、うながしの声かけをしましょう。もし、ちゃんと取りかかれたら、「時間通りに取りかかれて感心だったね。」とほめましょう。
- ②「学習環境を整える」…場所は決まっていますか。照明は十分ですか。テレビの音は大きくないですか。「聞きながら」「見ながら」などの「ながら勉強」は、学習効果があがらないことが、統計上でも明らかになっています。子どもさんが決めた時間になってもテレビなどが気になってなかなか学習に取りかかれられない場合、しばらくテレビを消したり、最初だけでも付き添ってやったりするなど、雰囲気づくりも大切です。子どもさんに応じた取り組み方を工夫してみましょう。

3 学習のメニュー

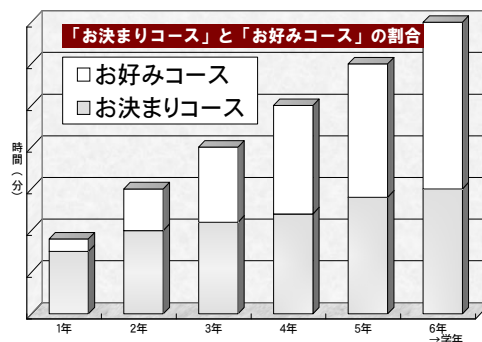
学習の内容は「お決まりコース」と「お好みコース」の2つを組み合わせ決めてます。

お決まりコース 主として「読み 書き 算」の復習を目的として担任から与えられた宿題の内容です。

漢字、日記、ドリル、プリント、音読などがあります。毎日決まったものがあると、一定のリズムができてくるので、自発的に取り組めるようになってきます。特に低学年のうちは、学年ごとのめやす時間よりも長くかかることがあるかも知れません。しかし、初めが肝心ですので、根気強く励ましてください。慣れてくると短い時間でできるようになってくると思います。やり方については、各学年ごとの「家庭学習のてびき」に示されていますので、そちらをご覧ください。

お好みコース 自分で見つける学習です。「お決まりコース」が早く終わったときや、土日や祝日などで、たっぷり時間があるときなど、自分で考えて取り組みます。

低学年のうちは自分で決めるのは難しいですが、学年の発達段階に応じて「お好みコース」の分量を増やしていくのが望ましいでしょう。「宿題が終わったからもうしない」「今日は宿題がなかったからしない」ではなく、



自分のために自分で見つけて学習する「自学」の習慣を身に付けさせましょう。

読書も楽しみながらできる学習の1つです。休みの日など、良い本にたくさんふれさせ頭と心にとっぷりと栄養を送りましょう。

くわしくは、各学年ごとの「家庭学習のてびき」をご覧ください。

また、低学年のうちから、自分の身の回りのこと(上ぐつ洗い等)や家の仕事なども積極的にさせるようにしましょう。生活科学学習のねらいの一つでもある「自立への基礎を養う」上でも大切なことです。いっしょに仕事をすれば、効率よくものを数えたり、時間をみて作業したり、聞いたことをメモしたり(聴写)など、学習のヒントがたくさんかかれています。

4 見届けと、できたらほめることも大切…

子どもさんの学習の様子を見たり、ノートなどに目を通したりして、できるだけ、よいところを見つけてください。もし、「誤字・脱字」や「乱字」等、内容的に指導したいことがあれば、まず、ほめてから注意するようにしましょう。「どうせ見せても注意されるばかり」と思ってしまい、親ごさんに見せたがらなくなることもあります。ほめられるとそれだけ子どものやる気も高まるものです。また、音読などは仕事をしながらでもよいので、聞いてあげてください。仕事で忙しかったり疲れがたまっていたりで大変だとは思いますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いたします。 **23日親子読書の日**

